

(1) 単元名： 「せんろづくり」 …… 学びをいかそう

(2) 本時の目標： 断片の線路を組み合わせて条件にあった線路を作ることができる。

辺土名小学校2年担任K先生、いくつかの学校で臨時の教諭経験があるが、辺土名小では1年間の定臨の教師である。

本日の授業は、算数少人数加配教諭のE先生と、夏休みから教材研究をすすめ、この単元のこの授業で子ども達の学びをいかした授業に「挑戦してみよう。」とかなった。

「学びの共同体」の名をあげ2年目、臨時教諭や本年度より赴任の先生方にとって「どんな授業なの?」「なにがちがうの?」「なんで?」いろいろな不安や疑念があると思うが、本日定臨の教師が先輩教師のアドバイスのもとで授業を公開することの意義は絶大であると考えます。

すばらしい、「活動的で協同的」な授業を拝見させていただきました。

☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。



【休み時間の風景】写真①、静かな女の子たちが和んでいる。教師の周りにも語りたいたい子ども達が集う。写真②、教室の後ろのスペースでちょっとやんちゃな子ども達が遊んでいる。写真③、教室の後ろの掲示やロッカーがかなり整然としてきた。「あたり前」がいかに大事か『凡事徹底』という。成長した。えらい!



写真①



写真②



写真③

【本時の学習の提示／進め方／学習のルールの確認】



子ども達の眼から入る資料は大切である。教師の言葉、板書の文字、課題は分かりやすく明確に下すが鉄則である。

課題の把握は大切である。今日は何の学習で、何がどこまでできればいいの。問題の条件(やくそく)をしっかり理解して、仲間と自分で解決に向かいたい。写真④、教師の説明に向けられる眼である。どことなくゆったりとした落ち着いた雰囲気を感じる。「しっとり」…かな!



写真④

【 成長する…学習規律の確立 】



授業の途中、活動のため机の上を片付けるように教師が指示した。さらに今日つかう線路カードを配布。配布後に、はやる気持ちを抑えて教師から「ちょっと待って」の声がかかる。3回の指示的な言葉があったが、子ども達は素直に聞き入れて行動した。「うれしい」の一言である。これも当たり前だが、その「あたり前」の大切さを同僚みんなで共有したい。

【問題① 7枚のカードでせんろをつくる。】始め、教師が模範をしめし、子ども達に先生をまねてやるように指示した。7枚のカードを使って8の字の線路を作った。教師の「どうぞ」の合図で一斉に手が動く、「待ってました」子ども達は夢中になって算数的活動に入り込む。

【やくそく】

- ・ぐるっと回っている。
- ・とちゅうでとぎれない



写真⑤



写真⑥

子ども達は始め、各々で取りかかった。当然できな者もいる。写真⑤、「できない」である。しかし隣の二人のやり取りを気にかけて探っていた。「できた。」写真⑥である。何とも言いようのない素敵な笑顔である。

【問題② 9枚のカードでせんろをつくる。】 やくそくは同じ。「よっしゃー」子ども達の張りきる声がる



写真⑦

素晴らしい！学年を考慮してか、問題レベルを徐々に上げる。最初の問題で解決の要領をおさえた子ども達は、やはり始めは自分の力でやりたがる。考える…考える…分からなければ「訊く」である。写真⑦の男の子は、最初の問題からつまずいて「意味わからん。誰か教えてー」と声をあげていたが、後ろの男の子が手を差しのべた。真剣に仲間の説明に聞き入る様子を見てわたしも「安心」した。この段階で教室は「互いに協力する、互いに確かめ合う、互いに支え合う、互いに分かり合う。」で教室の空気を一気に柔らかくした。

【問題③ 仲間と協力して長いせんろを作ってみよう。】 授業者が意図的に協同的活動を仕込む。子ども達は大喜びで隣の仲間とカードを持ち寄ってつなげる。



教室のどこを見ても、子ども達が楽しそうに学び合っている。強いも、弱いも、できる、できないもない。夢中になって楽しんでいる。今日の活動が明日からの授業につながるのである。書いて覚える授業も有りであるが、本時はまさに数学的体験活動と協力的活動が教師の授業デザインによって融合して仕込まれた授業である。授業者に脱帽！

【気にかける】 教師の視線 この微妙な距離間には必ず授業者の意図がある。



【支える仲間】 教師をモデリングする。子どもは教師を必ず模倣する。これは低学年ほど顕著に行動やその行為に現れる。写真⑧の女の子は、先ほどから教師が気にかけて手伝っていたのをモデリングしているものとする。今日だけでできるはずがない。授業者の日常が映し出されたシーンだ。一人残らずすべての子どもたちが学びに参加するためには仲間の力は必至になる。



写真⑧

「素敵な授業」ってどんな授業だろう？定臨の教師でなくても難し問である。授業終了後アドバイスにあたった同僚に聴くと、授業者は臨時の教諭ではあるが授業のセンスがいい、基本的的な学習規律の指導が行き届き、授業においては「間」の使い方がいいという。なんと素敵な先輩教師の言葉である。

K先生、素直に感謝です。二学期早々でしたが、ほんとに素敵な授業でした、「安心」をありがとう。

国頭学びの会ゆい